

令和3年度みえ森と緑の県民税基金事業のうち、

議論する事業・市町

1. 議論する事業・市町の抽出・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2. 議論する事業・市町の評価結果と意見等に対する回答
 - ① 生物多様性推進事業（B班）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
事業内容の詳細：資料2-1のP. 15、16
資料2-2の⑤（P. 1-75～1-77）

 - ② 森林教育体制整備事業及び
みえ森づくりサポートセンター運営事業（C班）・・・・・・・・・・ 5
事業内容の詳細：
【森林教育体制整備事業】
資料2-1のP. 9、10
資料2-2の④（P. 1-48～1-58）
【みえ森づくりサポートセンター運営事業】
資料2-1のP. 11、12
資料2-2の④（P. 1-59～1-70）

 - ③ 名張市（B班）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
事業内容の詳細：資料2-1のP. 26-1～26-40

 - ④ 菰野町（A班）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
事業内容の詳細：資料2-2のP. 11-1～11-15

令和 4 年度第 1 回みえ森と緑の県民税評価委員会において 議論する事業・市町の抽出について

1 議論する事業・市町の抽出の考え方

- ア 各委員の評価が 3 段階以上離れた事業・市町を抽出
- イ 以下に該当する事業・市町から、特に議論すべきと考えられる事業・市町を抽出
 - ・意見票において、議論の希望があった事業・市町
 - ・意見票及び特記事項において、確認事項が多かった事業・市町
 - ・評価が低かった（C 評価が多かった）事業・市町

2 議論する事業市町の選定

- (1) 1 のアに基づき、各委員の評価が 3 段階以上離れた事業・市町は該当なし
- (2) 1 のイに基づき、次の 4 つの事業・市町を抽出

①生物多様性推進事業（B 班）

【選定理由】

費用の明細等について確認するために議論が必要との意見があったため。

【確認事項等】

- ・費用の明細がなく適切な金額かどうか判断できない。
- ・ホームページなどにおいて、掲載の工夫がほしい。

②森林教育体制整備事業及びみえ森づくりサポートセンター運営事業（C 班）

【選定理由】

実施した成果の把握等について確認が必要との意見があったため。

【確認事項等】

（森林教育体制整備事業及びみえ森づくりサポートセンター運営事業）

- ・実施したことの成果・効果の把握、アンケートなどの実施は？
- ・各種講座の参加人数が少人数であることをどう捉えるのか。
 - 事業設計時点での参加者数の考え方について（少人数対象の講座としている理由）
 - 実施した際の参加人数について（少人数に設定したにもかかわらず参加者確保が出来ない理由）
 - コロナ禍をふまえた事業設計ということか？
- ・情報発信における WEB の活用は？

③名張市 (B 班)**【選定理由】**

無形民俗文化財保全事業について、森林管理の方向性等について確認が必要との意見があったため。

【確認事項等】

(無形民俗文化財保全事業)

- ・ヒノキを植林するためにヒノキを伐採したと理解したが、伐採したヒノキはどうしたのか。
- ・松明にヒノキを使うようだが、どのような森林管理を行い、どのような木を育て、使うのかがよく分からない。

④菰野町 (A 班)**【選定理由】**

菰野富士ふるさとの山環境整備事業について、「内容の確認、取組の改善が必要」との意見があったため。

【確認事項等】

(危険樹木伐採事業)

- ・伐採前後の明瞭な写真がない
- ・単に危険が除去されたというだけでなく、森林の適正な維持管理の重要性や保全についての情報も発信すべき。

(菰野富士ふるさとの山環境整備事業)

- ・木道工 4.3m に対して価格が高額 (4,862,000 円) ではないか。
- ・全線で利用可能となったとあるが、写真では施工箇所のが砂利道になっており、バリアフリー化が完了していないことから、改善が必要。
- ・橋の危険性 (何人まで一度に乗れるのか) の明示がない。
- ・情報発信について、具体的なこの自然の説明がほしい。

議論する事業・市町①

事業主体・事業名	三重県：生物多様性推進事業
----------	---------------

1. 事業毎の評価、コメント

番号	対策区分	事業名	評価の視点	委員1	委員2	委員3	合計	平均	評価	特記項目
⑤	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	生物多様性推進事業	有効性	3	3	3	9	3	B	・野生生物調査は必要な事業であると考ええる。
			効率性	3	3	2	8	2.7	C	・費用の明細がなく適切な金額が判断できない
			公益性	3	3	3	9	3	B	・生物多様性の保全は広く人々の公益となるものである。
			情報発信度	3	2	3	8	2.7	C	・HPなど掲載の工夫がほしい ・様々な媒体で情報提供されている。

議論する事業・市町への意見等に対する回答

① 生物多様性推進事業（B 班）

(1) 費用の明細がなく適切な金額かどうか判断できない。

(回答)

費用の概要については下記の通りです。

野生生物の生息状況調査 (委託費)	ガンカモ調査	335,500 円	調査箇所数 (168 箇所) から人工数を算出して積算
	環境 DNA 調査	330,000 円	事業者からの参考見積から積算 (10 検体)
	データベース追加	935,000 円	入力文字数 (約 550,000 字) から人工数を算出して積算
希少野生動植物種ゾーニングマップ作成 (委託費)	1,815,000 円		事業者からの参考見積 (歩掛) から積算

※その他、自然環境保全活動の支援として、専門家への報償費、旅費、消耗品費 (資材費) 等 771,737 円を支出している。

(2) ホームページなどにおいて、掲載の工夫がほしい。

(回答)

今後は、三重県ホームページで、自然環境保全活動の取組みや調査結果等の情報を掲載するとともに、県民税を有効に活用していることを周知していきます。

議論する事業・市町②

事業主体・事業名	三重県：森林教育体制整備事業及びみえ森づくりサポートセンター運営事業
----------	------------------------------------

1. 事業毎の評価、コメント

番号	対策区分	事業名	評価の視点	委員1	委員2	委員3	委員4	合計	平均	評価	特記項目
④ ー ア	3. 森を育む人づくり	森林教育体制整備事業	有効性	3	4	3	3	13	3.3	B	・県としてすべきことを意識的に取り組んでいる点を評価します。 ・実施したことの成果効果の把握、アンケートなどの実施は？
			効率性	3	3	2	3	11	2.8	C	・小人数であることをどう捉えるか
			公益性	3	3	3	4	13	3.3	B	・小人数であることをどう捉えるか
			情報発信度	3	3	2	3	11	2.8	C	・WEBの活用は？
④ ー イ	3. 森を育む人づくり	みえ森づくりサポートセンター運営事業	有効性	3	3	3	4	13	3.3	B	・実施したことの成果効果の把握、アンケートなどの実施は？
			効率性	3	3	2	3	11	2.8	C	・小人数であることをどう捉えるか
			公益性	3	3	3	4	13	3.3	B	・小人数であることをどう捉えるか
			情報発信度	3	3	2	3	11	2.8	C	・WEBの活用は？

議論する事業・市町への意見等に対する回答

②「森林教育体制整備事業」及び

「みえ森づくりサポートセンター運営事業」(C班)

(1) 実施したことの成果・効果の把握、アンケートなどの実施は？

(回答)

【成果・効果の把握、アンケート実施の考え方(2事業共通)】

実施した講座やイベントへの参加者を対象にアンケート調査等を行い、参加者がどのような経験をし、その経験を通して、どのようなことに気づき、考え方や行動が変化したのかを確認しています。

また、その結果を講師へフィードバックして助言等をいただき、アンケート結果が講座やイベントの趣旨に合致しているかを確認し、次回の講座等の改善に努めています。

また、森林教育の効果の科学的な検証方法についての検討を始めたところです。

【これまでの成果・効果と今後の取組方向(2事業共通)】

講座の参加者アンケート等の結果より、大半の参加者の受講前後の意識の変化や今後取り組みたいとする活動の方向性が、各講座等の趣旨と合致していることが確認できました。

また、指導者や教育関係者を対象とした講座等では、参加者が指導者として森林教育活動を実施することによる波及効果も期待でき、本事業は「森を育む人づくり」を推進するうえで、効果的なものと捉えています。

今後は、参加者アンケート等の結果も踏まえ、事業内容のさらなる改善に取り組むとともに、「森の学校」や学校教育の中で森林教育の実施を希望する学校等と指導者をつなぐなど、講座等の受講者が森林教育指導者として活躍できる場のコーディネートを進めていきます。

また、希望する人が安心して森林教育を受けられるよう、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた「三重県指針」等に基づき、十分な感染対策を講じたうえで、講座等を開催していきます。

(2) 各講座等の参加人数が、少人数にとどまっていることをどう捉えるのか。

(回答)

■主な講座等の参加者の推移

講座名		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		募集人数	参加人数	募集人数	参加人数	募集人数	参加人数
森林教育指導者養成講座	アクティブラーニング編	15	中止	15	20	—	—
	知識編	15	11	12	18	15	14
	木材・木育編（初級）	20	15	10	10	20	16
	見学編	15	5	—	—	10	9
	技術編	10	中止	10	6	10	12
	保育編	10	14	—	—	—	—
	クップ普及指導員養成講習会	40	中止	20	10	—	—
	田丸城跡の森スペシャリスト になろう！（秋編）	—	—	20	20	—	—
	田丸城跡の森スペシャリスト になろう！（治編）	—	—	20	20	—	—
	野外活動安全管理編	—	—	—	—	15	19
	主体的・対話的で深い学び編	—	—	—	—	10	9
	小計	125	45	107	104	80	79
森の アセン ブリー 講座 スキル	LEAF ローカルインストラクター編	10	11	10	7	10	7
	コミュニケーション編	20	16	—	—	15	15
	幼児を対象としたインタープ リテーション編	—	—	20	10	—	—
	木材・木育（中級）	15	9	15	15	10	3
	小計	45	36	45	32	35	25
学校教職員森林環境教育講座		20	14	20	6	20	15

※みえ森づくりサポートセンターが実施した指導者を対象とした講座については、講座の趣旨を踏まえ、すべて対面で実施しました。

※「中止」は計画していたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により中止したものの、「—」は計画がなかったもの。

【新型コロナウイルス感染症の影響（2事業共通）】

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた「三重県指針」等に基づき、講座等の開催を中止・延期し、制限のある中で当初の目的を達成できるよう、講座の内容や構成を見直すなどして、可能な限り講座やイベントを実施しました。

特に、新型コロナウイルスワクチンの接種が制限されていた子どもを対象とした体験型の講座については、開催の時期や方法の調整が難航し、中には、十分な募集期間を確保できない状況や、募集人数を制限するなどの影響がありました。

講座の趣旨や内容によっては、オンラインでの開催が困難なものもあり、今後も新型コロナウイルス感染症の影響は少なからず受けるものと考えていますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた「三重県指針」等に基づき、十分な感染対策を講じたうえで、円滑な講座等の実施を図っていきます。

【事業設計時点での参加者数の考え方（2事業共通）】

講座の趣旨や目的を達成できるよう講座の構成を組み立てたうえで、受講生の安全確保を考慮し、参加人数を設定しています。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた「三重県指針」等に基づき、講座の内容（体験活動・ワークショップ等）や会場の定員に応じて、募集人数を制限せざるを得ない状況にあり、参加者数を少人数に設定した講座もあります。

【参加状況（2事業共通）】

特に緊急事態宣言や蔓延等防止措置の発令期間の前後に開催した講座等については、感染を心配して参加を見送る人や、募集期間を十分にとることができない講座もあり、参加者数が定員を下回る結果となりました。

(3) 情報発信におけるWEBの活用は？

(回答)

■みえ森づくりサポートセンター運営事業

・みえ森づくりサポートセンターのFacebookやInstagramを活用して「みえ森と緑の県民税」を活用した取組について情報発信をしています。

(1) Facebookによる情報発信

The screenshot displays the Facebook profile of 'みえ森づくりサポートセンター' (@miemoridukuri · 教育). The page features a navigation bar with 'ホーム', '基本データ', '写真', 'イベント', and 'その他'. A '質問' (Questions) section lists several inquiries, such as 'この学校の料金は?' and 'この学校に関する詳しい情報を教えてください。'. An '情報' (Information) section includes a map of Mie City and text describing the center's role in forest education. A recent post from June 26, 2024, at 13:45, details a '森林教育指導者養成講座 (知識編)' (Forest Education Instructor Training Course - Knowledge Edition) held at the Mie Mori Tsukuri Support Center. The post includes photos of the seminar and a forest landscape. A green box highlights the text: 'に、三重県では2014年に森林環境税「みえ森と緑の県民税」を導入。このセンターはそれをもとに設立されました。県内各地で行われている森林づくり活動をサポートする役割を担っており、また森や木についての教育である森林教育を広めていく中心として活動していきます。表示を縮小'.

基礎情報欄に「みえ森と緑の県民税」を活用していることを掲載しています。

(2) Instagram による情報発信



掲載する写真には「みえ森と緑の県民税」ののぼり等が入るようにして、このイベントが「みえ森と緑の県民税」を活用して行われていることを情報発信しています。

※みえ森づくりサポートセンターのホームページについては、令和4年度より「みえ森と緑の県民税」に関する情報を発信しています。

■森林教育体制整備事業

- ・ホームページや SNS などでの情報発信に取り組んでいるところですが、現在、フェイスブックページにおいてはパブリックアカウントの制限があり、全庁的にも限定的な運用となってしまっています。
- ・また、ホームページや SNS での情報発信・周知については、最近では、比較的限定されたコミュニティとなってしまっているため、紙面や動画など、あらためて各種の媒体を検討し、みえ森林教育の取組や県民税の効果的な情報発信に努めていきたいと考えます。

議論する事業・市町③

市町名	名張市
-----	-----

1. 事業毎の評価、コメント

番号	対策区分	事業名	評価の視点	委員1	委員2	委員3	合計	平均	評価	特記項目
1	2. 暮らしに身近な森林づくり	危険木伐採事業	有効性	3	3	3	9	3	B	・危険木の除去は必要な作業である。
			効率性	3	4	3	10	3.3	B	・明細に本数表記もされている。
			公益性	3	3	3	9	3	B	・通学路沿いなど公益性は高い
			情報発信度	3	3	3	9	3	B	・複数の媒体で紹介している
2	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	森林公園等環境活用整備事業	有効性	4	3	3	10	3.3	B	・対策区分の目的に合っている。 ・地域住民による公園の森林整備は評価できる。
			効率性	3	4	3	10	3.3	B	・金額も妥当であると見受けられる
			公益性	4	4	3	11	3.7	A	・市民に広く効果がある ・多くの地域住民が利用し公益性も高い
			情報発信度	3	3	3	9	3	B	・複数の媒体で紹介している
3	2. 暮らしに身近な森林づくり	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	有効性	3	3	3	9	3	B	・山が綺麗になり、再生可能エネルギーの普及にも貢献している。
			効率性	3	4	3	10	3.3	B	・他市に比べて支援単価が低く、業者が大量に使う事業ではなさそう。
			公益性	3	3	3	9	3	B	・地域の方が山林に関心を持つきっかけにもなっている
			情報発信度	3	4	3	10	3.3	B	・複数の媒体で紹介している

4	2.暮らしに身近な森林づくり	人家裏危険木伐採事業	有効性	3	3	3	9	3 B	・危険木の除去は必要な作業である。
			効率性	3	4	3	10	3.3 B	・一部助成の手法は評価できる。上限額があり1本毎の単価に大きな違いがある
			公益性	3	3	3	9	3 B	・災害後に処理するより事前に行うことの意義は認められる
			情報発信度	3	4	3	10	3.3 B	・複数の媒体で紹介している
5	4.森と人をつなぐ学びの場づくり	学校林整備事業	有効性	3	3	4	10	3.3 B	・学校林の整備と体験を組み合わせしており評価する。
			効率性	3	4	2	9	3 B	・内容が多岐にわたり妥当な金額とも思われる。
			公益性	3	3	3	9	3 B	・継続した活動となり評価できる。
			情報発信度	3	4	3	10	3.3 B	・複数の媒体で紹介しているが、行政チャンネルなどTVにも取りあげてほしい
6	3.森を育む人づくり	森林環境教育推進事業	有効性	3	3	3	9	3 B	・森林環境教育を進める上で予算がないことは各学校の課題となっており、このような支援は有効と考える。
			効率性	3	4	3	10	3.3 B	・生徒、教員100名に対しボランティア60名が協力し、税ではバス代のみ支出しているようであるが、善意に便り過ぎているように感じる。謝金や必要経費はしっかりとみるべきであると考え。
			公益性	3	3	2	8	2.7 C	・1校しか利用がなかったのが寂しい。
			情報発信度	3	4	3	10	3.3 B	・複数の媒体で紹介している

7	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	桜並木保全管理事業	有効性	4	4	2	10	3.3 B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対策区分の目的に合っている ・ 桜並木がソメイヨシノであれば写真から見るにそろそろ寿命ではないか？施肥だけでは維持は難しいと考える。少しずつ伐って植え替えていくことも検討した方が良いと考える。
			効率性	3	3	2	8	2.7 C	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアが実施し肥料の購入補助の仕方は評価できるが、施肥で延命できるのか？
			公益性	4	3	3	10	3.3 B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民に広く効果がある ・ 多くの人が花見を楽しめることから公益性は認められる
			情報発信度	3	3	3	9	3 B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の媒体で紹介している
8	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	無形民俗文化財保全事業	有効性	4	4	2	10	3.3 B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重要な目的である ・ ヒノキを植林する為にヒノキを伐採したと理解したが、伐採したヒノキはどうしたのか？
			効率性	3	3	2	8	2.7 C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 松明にヒノキを使うようだが、どのような森林管理を行い、どのような木を育て、使うのが良く分からない
			公益性	3	3	2	8	2.7 C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記の点から公益性がよく分からない。
			情報発信度	3	3	2	8	2.7 C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現段階では発信内容が不明。

9	2.暮らしに身近な森林づくり	災害からライフラインを守る事前伐採事業	有効性	3	3	3	9	3 B	・停電の原因となりうる樹木を事前に伐採することの意義は理解できる。
			効率性	3	3	3	9	3 B	・本数も資料には記載されているが経費内訳にも記載されると良い。
			公益性	3	3	3	9	3 B	・停電の原因となりうる樹木を事前に伐採することの意義は理解できる。
			情報発信度	3	3	3	9	3 B	・複数の媒体で紹介している
		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	有効性	評価対象外					
			効率性						
			公益性						
			情報発信度						

2. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・有効に活用されています。
・名張市は、総合的に県下で平均的な市の概要であるが、基本自治会や地域づくり協議会、ボランティアなど、住民が主体になって補助金という形で行政がサポートする仕組みをとっており、自然と情報発信力も伴い、効果的な使われ方をしていると高く評価します。
・多岐に渡る事業に取り組んでいる点は評価できるが、松明用ヒノキを植栽の事業だけ分かりにくかった。 ・記載内容については他市町と比べても大変充実している。

議論する事業・市町への意見等に対する回答

③名張市（B 班）

（無形民俗文化財保全事業）

（1）ヒノキを植林するためにヒノキを伐採したと理解したが、伐採したヒノキはどうしたのか。

（回答）

松明木の原材料を調達するヒノキ林を育成するため、令和3年度は、不要木であるスギ70本を伐採し、植栽準備を実施しました。伐採したスギは令和4年度に実施する植林を妨げないよう現地に集積しています。

（2）松明にヒノキを使うようだが、どのような森林管理を行い、どのような木を育て、使うのかがよく分からない。

（回答）市の考え方を回答

これまで当地域では、松明の原料となるヒノキを当該山林から伝統的に調達してきましたが、成立するヒノキが少なくなってきたことから、みえ森と緑の県民税を活用し、松明木の原材料となるヒノキを調達するため、支障となるスギを伐採しヒノキの植林を行うことで、地域の身近な緑の環境づくりを行うこととしています。

植林したヒノキは30～50年生になるまで育成する予定で、下刈りなどの森林管理については、当該森林を所有する極楽寺および伊賀一ノ井松明講（申請団体）が行います。植栽時にツリーシェルターで幼齢木を保護することで獣害対策を講じます。植林本数は約100～200本を予定しており、最も効率的に育成できるよう森林組合に助言をいただきながら検討していきます。

なお、植林については、地域のボランティアスタッフを募るとともに地元小学生にも参加してもらうことを予定しており、地元根付く文化の継承と併せて身近な緑や森林に触れ親しみこれらを大切にする気持ちを醸成できると考えます。



- [HOME](#) | [特集記事](#) | [観光スポット](#) | [イベント](#) | [遊び・体験](#) | [モデルコース](#) | [旅の予約](#) | [アクセス](#) |
[はやわかり三重](#) | [伊勢神宮・伊勢志摩](#) | [熊野古道](#) | [松阪牛★グルメ旅](#) | [特設サイト](#) | [グルメ](#) | [おみやげ](#)

観光三重トピックス！

PR

[> バナー広告について](#)

名張市「松明調進行事」(旬体験！三重県おでかけ情報：2018年2月9日放送内容)

2018.02.09



三重県名張市の「松明調進行事」についてご紹介します。

※ぎふチャン(岐阜放送)ラジオ「旬体験！三重県おでかけ情報」<2018年2月9日(金)放送内容>

AM1431kHz(岐阜) / AM720kHz(高山) / AM1197kHz(下呂)

パソコン・スマホ：<http://radiko.jp/#GBS>

パーソナリティ：西金之助さん、竹内万理さん

観光三重ピックアップ！

三重県内での宿泊・日帰り旅行割引「みえ得トラベルクーポン」

2022.05

伊勢神宮参拝方法やおかげ横丁の情報満載 初めのお伊勢まいり「伊勢志摩を歩く」

2020.04

三重県の花火大会特集【2022年版】スケジュール・開催場所など人気の花火大会を紹介

2022.06

三重県のキャンプ場特集！アメリカンなキャンプ場や話題のグランピングまで！

2020.05

松阪牛特集！人気老舗店などオススメ9店舗をご紹介。「肉の芸術品」を本場で堪能しよう！

2020.08

オフィシャルSNS





竹内：三重県の旬の観光情報をお届けする番組「旬体験！三重県おでかけ情報」。
今日は、三重県名張市の「松明調進行事」についてご紹介します。
紹介いただくのは春を呼ぶ会 福本進治さんです。
福本さん、よろしくお願いします。

福本：おはようございます。よろしくお願いします。

西：福本さん、松明調進行事は、大変歴史のある行事そうですね。
まずは、松明調進行事の由来について、お伺いしたいと思います。

福本：はい、奈良県にある東大寺二月堂のお水取りに使われる松明を、名張の伊賀一の井松明講の皆様によって、奉納する行事で、760年間、とぎれる事なく続いています。
それをサポートしているのが、私たち「春を呼ぶ会」です。

竹内：東大寺二月堂のお水取りに使われる松明は、名張市の赤目町一の井から切り出された桧の松明木なのですね。
松明講の皆様というのは、「松明を調進する人たちで作る組織」、その方たちが、毎年「奈良の東大寺まで奉納している行事」ということですね。



 PR

取材レポート

かざはやの里とは？季節の花が楽しめる園内の見どころや駐車場を紹介します

掲載日:2022.06.27

▼ 取材レポート一覧を見る

フォトコンテスト

夏をめざして

▼ 写真を投稿する  ページトップ



福本：昭和5年に近鉄大阪線の前身となる参宮急行が開通してからは、電車に乗せ奉納するようになりましたが、昭和63年から、昔のままの経路約35kmを歩いて奉納出来ないかと考えまして、全工程の3分の1を「昔のまま歩く行事」を復活させました。

西：奈良への道のりを徒歩で、しかも松明を荷って届けていた先人に、想いを馳せながら、その行程をたどるのですね。

福本：はい。復活の理由としましては、80年代にバブル期を向かえ、名張市がベットタウンとして発展し、3万人の人口が8万人に増えたのがきっかけです。

新しい市民の方との共通の話題づくり、名張市をふるさとという意識と、郷土愛を持ってもらうよう、この事業を復活させました。



竹内：伝統への誇りや郷土愛が伝わってきますね。
その松明調進行事ですが、どなたでも参加できるそうですね。

福本：はい。松明調進行事への一般参加者も募集をしています。
2月11日松明の切り出しと、3月10日に安全祈願のお渡りが行われますが、その後、3月12日に行われる松明調進行事に参加していただく皆様に募集しています。
数年前から、東京都、愛知県、九州方面からの参加もごさいます。

西：どのような行程になりますか。

福本：3月12日 月曜日 朝5時50分にバスで名張市役所前出発し、赤目極楽寺に向かいます。
そこから徒歩で山道を進み、三重と奈良の県境となる笠間峠を超えます。
笠間地内で「笠間の郷を想う会」の皆様のおもてなし朝食をいただき、バスで奈良市内に向かい、午

三重県の宿のご予約

人気サイトの宿泊プランを一括比較！

オンラインでの空室確認&予約はこちら >

観光三重ピックアップ！

三重県内での宿泊・日帰り旅行割引「みえ得トラベルクーポン」

2022.05

伊勢神宮参拝方法やおかげ横丁の情報満載 初めのお伊勢まいり「伊勢志摩を歩く」

2020.04

三重県の花火大会特集【2022年版】スケジュール・開催場所など人気の花火大会を紹介

2022.06

三重県のキャンプ場特集！アメリカンなキャンプ場や話題のグランピングまで！

2020.05

松阪牛特集！人気老舗店などオススメ9店舗をご紹介します。「肉の芸術品」を本場で堪能しよう！

2020.08

観光三重ピックアップ

三重県内での旅行割引「みえ得クーポン」



ページトップ

2022.05

前10時30分到着予定です。

奈良市内から東大寺南大門までは、30分程歩き、二月堂にて松明を奉納し、解散となります。



竹内：あとは、各自、奈良市内観光や宿泊など、旅の続きを楽しむことも可能なですね。

福本：はい。ご希望の方は、14時に、南大門横から名張市役所まで、バスが出ますので、ご利用ください。なお、夜には、お水取りのクライマックス「修二会」の「火の行」も見学できますので、せっかくですからご覧いただくのもいいかと思います。

西：充実した一日になりますね。

福本：そうですね。ただ、歩行区間でもバスのご用意をしています。山道を歩く自信のない方は、ご利用ください。



伊勢神宮参拝方法やおかげ横丁の情報満載 初めのお伊勢まいり「伊勢志摩を歩く」

2020.04

三重県の花火大会特集【2022年版】スケジュール・開催場所など人気の花火大会を紹介

2022.06

竹内：一連の流れを写真で拝見しましたが、松明の切り出しにも、伝統や工夫が見られますね。

福本：そうですね。松明の切り出しは、まず節の無い樹齢100年ほどの檜を選び、住職の読経後、行います。それを人の手で運び出し、皮をむき、決まった形に切って、組み合わせ、ヒモで縛ります。運びやすいように1束ずつ長さ2メートルの青竹の両端にくくり付けて、完成になります。それを5つ作って、東大寺に送り出すわけです。

西：随所に、先人の知恵が詰まっているように感じますが、福本さん、松明調進行事に参加する魅力って、何でしょう。

福本：いにしえの人の思いには信仰心もあったかとは思いますが、この時代にもこうした苦行ともいえるような貴重な体験をすることで、生きていることの大切さを感じていただくことも魅力だと思います。

また、この機会に名張の魅力も再認識していただけたらと思います。



竹内：名張市の自然や歴史、道中には、おもてなし朝食もあるそうですから、人の温かさも感じられる旅になりそうですね。

申し込みはどのようにしたらいいですか。

杉原：3月12日の参加者募集は、2月1日から2月28日まで、定員60名、先着順となっております。住所、氏名、年齢、生年月日、電話番号を記入し、FAX又はハガキでお申込みください。皆様の参加をお待ちしております。

西：それでは、「松明調進行事」お申込み先です。

FAXでお申し込みの場合は、名張市観光協会内 春を呼ぶ会事務局 FAX番号 0595-63-9138。

はがきでお申し込みの場合は、〒518-0729 三重県名張市南町822-2 名張市観光協会内「春を呼ぶ会」宛。

住所、氏名、年齢、生年月日、電話番号を記入し、お送りください。

松明調進行事のお問合せは、名張市観光協会 電話番号 0595-63-9148。

竹内、西：福本さん、今日はありがとうございました。

福本：こちらこそ、ありがとうございました！

[← 一覧に戻る](#)

議論する事業・市町④

市町名	菰野町
-----	-----

1. 事業毎の評価、コメント

番号	対策区分	事業名	評価の視点	委員1	委員2	委員3	合計	平均	評価	特記項目
1	2. 暮らしに身近な森林づくり	病虫害被害木伐採搬出事業	有効性	3	4	3	10	3.3	B	
			効率性	3	3	3	9	3.0	B	
			公益性	3	3	3	9	3.0	B	
			情報発信度	3	4	3	10	3.3	B	
2	2. 暮らしに身近な森林づくり	危険樹木伐採事業	有効性	3	4	3	10	3.3	B	
			効率性	3	3	3	9	3.0	B	・伐採前後の明瞭な写真がない。
			公益性	3	4	3	10	3.3	B	
			情報発信度	3	4	3	10	3.3	B	
3	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	菰野富士ふるさとの山環境整備事業	有効性	2	3	3	8	2.7	C	・写真では、施工個所の先が砂利道になっており、バリアフリーになっていません（全線で利用可能?）。 ・橋の危険性の明示がない。
			効率性	2	4	3	9	3.0	B	・施工個所4.3mの価格として高価ではないかと疑問が残ります。
			公益性	3	4	3	10	3.3	B	
			情報発信度	3	4	3	10	3.3	B	・具体的なこの自然の説明がほしい。
		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	有効性	評価対象外						
		効率性								
		公益性								
		情報発信度								

2. 評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
<p>・危険木除去等について、単に危険が除去されたというだけではなく、森林の適正な維持管理の重要性や保全についての情報も発信するべきと感じます。「菰野富士ふるさとの山環境整備事業」については、施工個所に対して価格が高額であること、施工個所の先が砂利道になっており、バリアフリー化ができていないこと（報告書では「全線で利用可能となった」となっている）、から事業の取り組みに改善が必要です。</p>

議論する事業・市町への意見に対する回答

①菰野町（A 班）

（危険樹木伐採事業）

（1）伐採前後の明瞭な写真がない

（回答）

別添のとおり追加写真を提出します。また、今後、伐採前後の状況がより明らかになるような写真撮影を申請者に依頼します。

（2）単に危険が除去されたというだけでなく、森林の適正な維持管理の重要性や保全についての情報も発信すべき。

（回答）

今後、森林の適正な維持管理の重要性や保全についての情報発信も行ってまいります。

（菰野富士ふるさとの山環境整備事業）

（3）木道工 4.3m に対して価格が高額（4,862,000 円）ではないか。

（回答）

本事業で採用する木道工には、

- ・現場が狭隘で重機を搬入することが不可能であること
- ・自然環境への影響が少ない工法であること
- ・急傾斜地においても施工可能であること

といった条件をクリアできる工法が必要であったため、軽量で運搬・施工を人力で行うことができる特殊な基礎（ダイヤモンドピア基礎）を用いた工法を採用しており、一般的な木道工よりも高い単価となっています。

加えて、令和3年度の施工箇所は、現場が特に急峻で、地盤から木道面までの高低差が大きく、基礎からの立ち上げ部分が高くなるため、資材費、労務費ともに割高となっています。

【参考】 施工費の内訳

区分	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	
工事価格	1	式		5,135,000	
内 訳	木道工	8.6	m2	300,000	2,580,000
	土工	1	式		68,140
	共通仮設費	1	式		285,000
	現場管理費	1	式		1,250,000
	一般管理費	1	式		951,860
消費税相当額	1	式		513,500	
工事費 計	1	式		5,648,500	

※5,648,500×落札率 86.1%≒4,862,000 円

(4) 全線で利用可能となったとあるが、写真では施工箇所の先が砂利道になっており、バリアフリー化が完了していないことから、改善が必要。

(回答)

令和3年度事業において、これまで整備した区間と既設歩道を接続することにより、これまでに整備した全区間の供用を開始し、健常者の方は、整備区間と既設歩道を使って周遊可能になるとともに、車いすの方なども、整備区間の往復が可能となりました。

これにより、全区間のバリアフリー化はされていないものの、バリアフリー化した区間においても、森林浴に加え伊勢湾までの眺望を楽しむことができるため、早期の事業効果発現につながったと考えています。

また、既設歩道との接続部の工法については、地形が急峻な箇所であったため、これまでと同様の工法が必要となりました。

今後の施設整備の方向性については、設備投資が過大であるといったご意見もふまえて、検討を行っているところです。

(5) 橋の危険性（何人まで一度に通行可能か）の明示がない。

(回答)

当該施設については、立体横断施設技術基準等に基づき設計を行っており、通常想定される通行量に対しては、十分な安全性を確保しており、常時、掲示を行う必要はないと考えています。今後、周辺でのイベント開催などにより、多数の集客が見込まれる場合には、警備員やスタッフを配置し、通行者数を制限するなど、利用者の安全確保対策を講じます。

また、受益者数についても、評価委員会の議論を踏まえ、菰野富士周辺地区のみの入込客数とさせていただきました。

(6) 情報発信において、具体的なこの自然の説明がほしい。

(回答)

菰野富士は町としても重要な観光拠点と認識しており、今後も周辺環境整備の進捗に併せ、検討してまいります。

<菰野富士の自然>

菰野富士は標高が 369m と低山ではありますが、山頂はとても眺めがよく、360 度大パノラマが広がっており、菰野町や四日市市、名古屋の高層ビル群まで見える海側の景色と、御在所岳や鈴鹿の山並みが見える山側の景色を楽しめます。また、低山であるということと、作業道等が整備されていることから、片道 30 分程度で頂上まで行くことができ、子供からお年寄りまで多くの方が登山を楽しめる箇所となっています。

また、菰野富士の麓では、1983 年に「江野高原ツツジの群生地」として「21 世紀に残したい日本の自然 100 選」に全国 2000 箇所の候補地の中から選ばれており、町内小学生で構成される菰野町みどりの少年隊がツツジを植栽することで、ツツジの群生地としての貴重な姿を将来的に保全しており、また企業の森により、植樹や間伐等の活動を行うなど、当町の森林教育の要を担っています。

<危険樹木伐採事業の施工前・施工後の写真>



施工前



施工後



7 生田緑地 (神奈川県)



ピンファウンデーション木道

現場打設コンクリートの代わりにダイヤモンドピアを基礎として使用した木道です。

ダイヤモンドピアの特徴

- 1. 重機が進入できない箇所に最適です。**
定着ブロックと複数のピンだけで固定します。どちらも軽量なので運搬は人力で行うことができます。施工もハンディタイプの電動工具で可能です。
- 2. 自然環境に優しい工法です。**
木の伐採や地面の掘削を最小限に抑えられますので、自然環境を損なわずに施工可能です。
- 3. 斜面地や湿地帯での施工も可能です。**
基礎工事の困難な斜面地や地耐力の弱い湿地帯にも打ちこみピンを長くすることで対応することが可能です。
※ダイヤモンドピアは株式会社ラスコジャパンの商品です。



ダイヤモンドピアの仕様

- ① 定着ブロック本体 / コンクリート製
- ② 打込みピン / 溶融亜鉛めっき鋼管
- ③ 柱脚金具 / 溶融亜鉛めっき



8 東高根森林公園 (神奈川県)



9 ウトナイ湖 (北海道)



景観・土木
ENVIRONMENT
施工実績
木道・階段

